平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月8日

上場会社名　株式会社 デジタルアドベンチャー　　上場取引所　大
コード番号　4772　URL　http://www.digiadv.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 矢島　重比古
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 大山　智子　TEL 03-5772-7291

四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,152	―	62	―	82	―	71	―
23年12月期第1四半期	1,244	△15.6	△24	―	△26	―	△31	―

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　71百万円　(―%)　23年12月期第1四半期　△25百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	1.31	―
23年12月期第1四半期	△0.58	―

当社は、平成23年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成24年12月期第1四半期(1月～3月)と平成23年12月期第1四半期(4月～6月)とは対応する期間が異なるため、平成24年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	3,495	2,569	70.4	45.32
23年12月期	3,303	2,494	72.4	44.01

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　2,461百万円　23年12月期　2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―				
24年12月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,046	―	△24	―	△22	―	△24	―	△0.44
通期	4,308	―	135	―	138	―	128	―	2.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成23 年12 月期は決算期変更に伴い9カ月の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	54,392,638 株	23年12月期	54,392,638 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	78,426 株	23年12月期	77,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	54,314,520 株	23年12月期1Q	54,315,609 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年12月期より決算期を３月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成24年12月期第１四半期と平成23年12月期第１四半期とは対応する期間が異なるため、前年同四半期との比較については記載しておりません。

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な景気悪化や企業活動の停滞からの緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、欧州の債務問題、依然として続く歴史的水準の円高や原油の高騰などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは前連結会計年度にグループ事業再編を実施したことで、当社はマネジメントを中心としたエンターテインメントに事業集中し、イベント・ライブ開催、ＣＤリリース、ＣＭ出演および関連商品販売等に更に注力したことで、売上高、利益とも伸ばしております。しかしながら、子会社に集約されたデジタルコンテンツ配信における既存サイトの売上減少は下げ止まりつつあるものの引き続き厳しい状況は続いております。なお、前連結会計年度に株式会社アルジーが連結子会社から持分法適用関連会社となったことに伴い、当第１四半期連結累計期間から通信・映像送出事業は報告セグメントとして記載する事業セグメントから除外しております。

一方、利益面については、イベントコスト等の徹底管理を図り、前連結会計年度の不採算サイト閉鎖および人員削減により経費が大幅に減少しております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は11億52百万円、営業利益62百万円、経常利益82百万円、四半期純利益71百万円となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（デジタルコンテンツ配信事業）

前連結会計年度に子会社に事業が集約され、各子会社は得意とする分野にリソースを集中しておりますが、既存サイトの売上減少は下げ止まりつつあるものの引き続き厳しい状況は続いております。

利益面では、外注費の見直しを図るなどコスト削減に努め、この結果、売上高は１億96百万円、セグメント利益は29百万円となっております。

（物販事業）

所属アーティストのデビューシングルＣＤ、イベント関連グッズ等が好調であったことにより、売上高は２億41百万円、セグメント利益は13百万円となっております。

（ライツ＆メディアコミュニケーション事業）

２月には昨年ソロデビューしました韓国アーティストキム・ヒョジュンの日本メジャーデビューイベント「VALENTINE LIVE 2012」、３月には台湾の人気俳優ジェリー・イェンが約２年ぶりの来日ファンミーティング「ジェリー・イェン　ファンミーティング2012」、また昨年日本デビューしました韓国アイドルグループ大国男児が初の単独公演「大国男児 Japan First Live 2012」を開催いたしました。

利益面では、イベントコスト等の徹底管理を図るなどコスト削減に努め、この結果、売上高は５億87百万円、セグメント利益は16百万円となっております。

（その他事業）

子会社の株式会社ザ・ネット・プランのセールスコミュニケーション関連事業の売上が３月に集中することもあり、売上高は１億27百万円、セグメント利益は３百万円となっております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産は、34億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億92百万円増加しました。この主な要因は、前渡金が２億１百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は、９億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億18百万円増加しました。この主な要因は、買掛金が36百万円増加、流動負債のその他が82百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は25億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が71百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年２月14日付公表の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に掲載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,018,104	1,998,900
売掛金	531,011	512,724
コンテンツ	12,842	13,983
商品	3,671	3,821
仕掛コンテンツ	11,046	8,547
前渡金	179,771	380,945
その他	59,142	72,431
貸倒引当金	△4,813	△3,739
流動資産合計	2,810,774	2,987,615
固定資産		
有形固定資産	52,040	45,022
無形固定資産		
のれん	55,077	49,465
その他	75,140	72,061
無形固定資産合計	130,217	121,527
投資その他の資産		
その他	354,368	385,956
貸倒引当金	△44,404	△44,404
投資その他の資産合計	309,963	341,551
固定資産合計	492,221	508,101
繰延資産	27	6
資産合計	3,303,023	3,495,724
負債の部		
流動負債		
買掛金	391,007	427,362
事務所移転損失引当金	35,482	35,174
その他の引当金	6,202	6,000
資産除去債務	20,946	20,969
その他	351,306	433,760
流動負債合計	804,945	923,266
固定負債	3,147	2,828
負債合計	808,093	926,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△1,576,691	△1,505,418
自己株式	△32,348	△32,372
株主資本合計	2,390,452	2,461,701
新株予約権	104,478	107,927
純資産合計	2,494,930	2,569,628
負債純資産合計	3,303,023	3,495,724

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	1,244,224	1,152,905
売上原価	919,449	863,341
売上総利益	324,775	289,564
販売費及び一般管理費	349,243	226,768
営業利益又は営業損失（△）	△24,467	62,796
営業外収益		
受取利息	824	749
為替差益	－	20,342
その他	865	137
営業外収益合計	1,690	21,230
営業外費用		
持分法による投資損失	－	1,015
その他	3,670	43
営業外費用合計	3,670	1,059
経常利益又は経常損失（△）	△26,447	82,966
特別利益		
投資有価証券売却益	20,000	－
新株予約権戻入益	2,729	933
特別利益合計	22,729	933
特別損失		
特別退職金	7,582	3,294
減損損失	927	3,378
その他	716	85
特別損失合計	9,226	6,758
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△12,944	77,141
法人税、住民税及び事業税	4,621	7,051
法人税等調整額	7,511	△1,182
法人税等合計	12,132	5,868
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,077	71,272
少数株主利益	6,594	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△31,671	71,272

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,077	71,272
四半期包括利益	△25,077	71,272
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,671	71,272
少数株主に係る四半期包括利益	6,594	―

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）	合計
	デジタルコンテンツ配信	物販	ライツ＆メディアコミュニケーション	通信・映像送出	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	275,828	196,076	504,715	197,930	1,174,551	69,672	1,244,224
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	47,579	47,579	0	47,580
計	275,828	196,076	504,715	245,510	1,222,131	69,673	1,291,804
セグメント利益又は損失（△）	△18,413	32,619	△23,497	5,121	△4,169	△20,413	△24,582

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

	合計
報告セグメント計	△4,169
「その他」の区分の損失　（△）	△20,413
セグメント間取引消去	115
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△24,467

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	デジタルコンテンツ配信	物販	ライツ＆メディアコミュニケーション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	196,237	241,366	587,932	1,025,537	127,368	1,152,905
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	0	0
計	196,237	241,366	587,932	1,025,537	127,368	1,152,906
セグメント利益	29,169	13,150	16,826	59,146	3,250	62,397

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

	合計
報告セグメント計	59,146
「その他」の区分の利益	3,250
セグメント間取引消去	398
四半期連結損益計算書の営業利益	62,796

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前第２四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社アルジーは、当社の保有株式の一部を売却し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結累計期間から通信・映像送出事業は報告セグメントとして記載する事業セグメントから除外しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。